

平成23年度上半期の緊急発進実施状況について

1 全般

平成23年度上半期（第2四半期まで）の緊急発進回数は、203回であり、前年度と比べて17回増加しました。

推定を含みますが、緊急発進回数の対象別の割合は、ロシア機約52%、中国機約41%、台湾機約2%、その他約5%でした。

2 航空方面隊別の状況

平成23年度上半期の航空方面隊別の状況については、北部航空方面隊が77回、中部航空方面隊が20回、西部航空方面隊が17回、南西航空混成団が89回の緊急発進を実施しました。

前年度と比べて南西航空混成団の緊急発進回数が大幅に増加しました。

3 平成23年度上半期の特徴

中国機に対する緊急発進回数は83回であり、前年度に比べて59回増加しており、第1四半期に引き続き増加傾向で推移しています。

一方、ロシア機に対する緊急発進回数は106回であり、前年度に比べて43回減少しました。

第1四半期はロシア機よりも中国機に対する回数が多かったものの、第2四半期はロシア機に対する回数の方が多かったため、国別の割合としては、例年通りロシア機の方が多く占めている状況です。

また、上半期には、ロシア機10件と中国機5件の事例について、我が国領空に沿った長距離飛行をしたため、特異な飛行であるとして公表しました。このうち、9月8日のロシア爆撃機TU-95に対するロシア空中給油機IL-78による空中給油については、緊急発進した航空自衛隊の戦闘機による初めての目視確認及び写真撮影となりました。

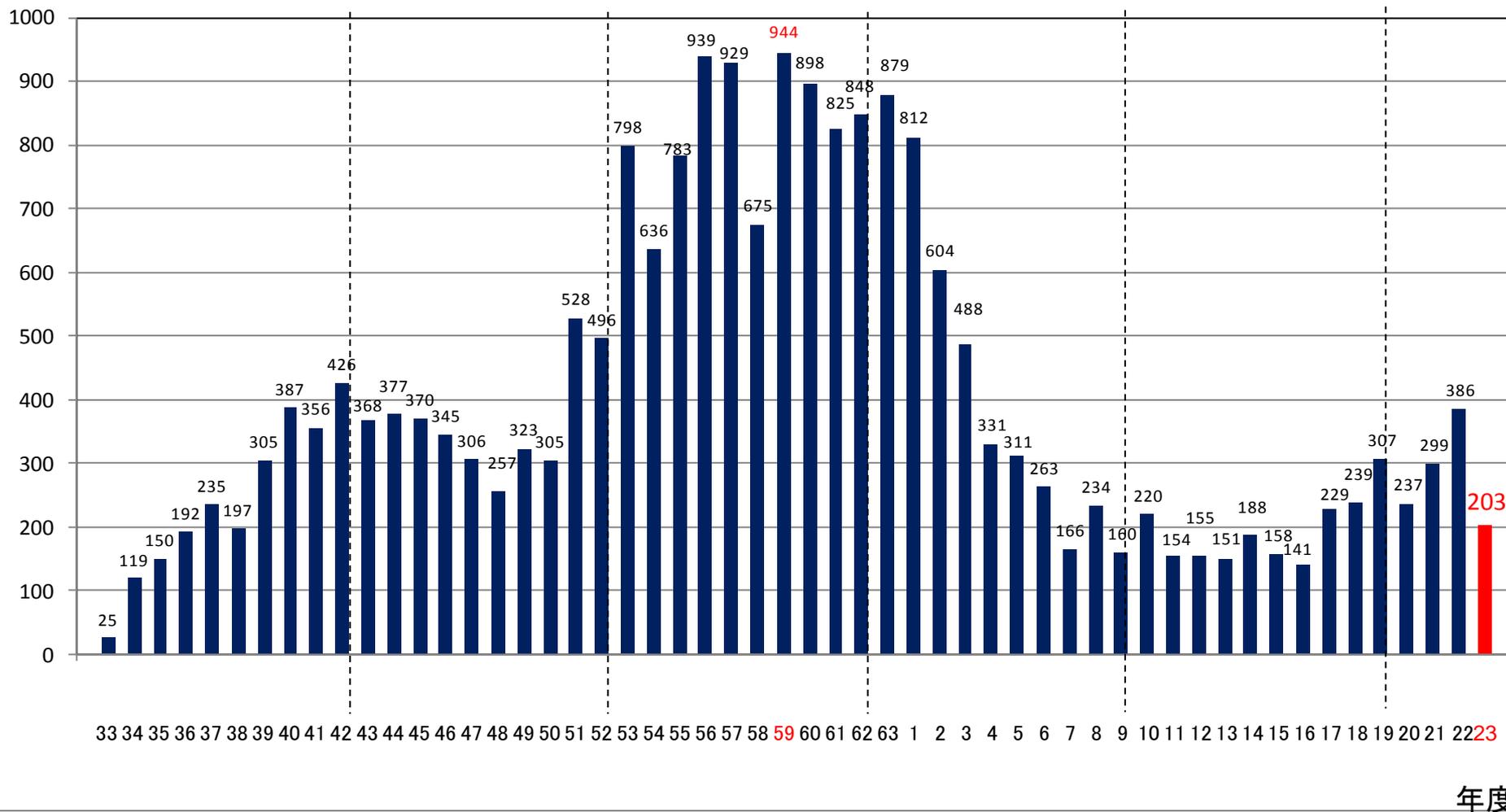
当該期間は、23.4.1～23.9.30です。

- 添付資料：
- 1 年度緊急発進回数の推移
 - 2 航空方面隊別緊急発進回数の推移
 - 3 国・地域別緊急発進回数
 - 4 四半期毎の緊急発進回数の推移
 - 5 緊急発進の対象となったロシア機及び中国機の飛行パターン例

年度緊急発進回数推移

回数

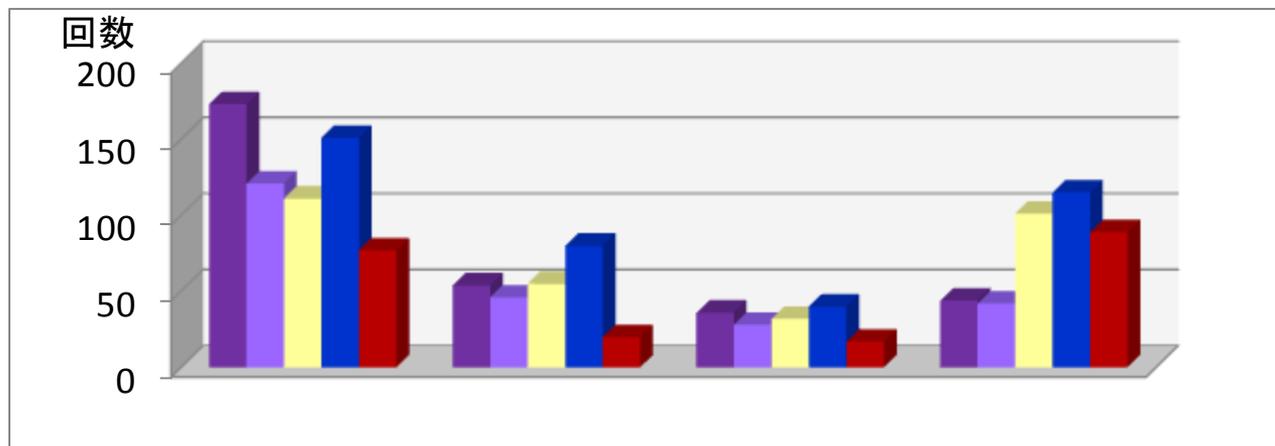
23. 9. 30現在



年度

航空方面隊別緊急発進回数の推移(過去5年間)

23. 9. 30現在



	北空		中空		西空		南混		合計	
■19年度	173	83	54	25	36	23	44	35	307	166
■20年度	121	71	46	22	28	10	42	3	237	106
■21年度	111	61	55	22	32	13	101	50	299	146
■22年度	151	78	80	50	40	22	115	36	386	186
■23年度		77		20		17		89		203

※ 各方面隊の左列は年度、右列は上半期(4月1日~9月30日)の回数を示す。

国・地域別緊急発進回数(過去5年間)

23. 9. 30現在

国・地域 年度	ロシア	中国	台湾	北朝鮮	その他	合計
19	122	38	3	0	3	166
	253	43	3	0	8	307
20	99	1	2	0	4	106
	193	31	7	0	6	237
21	84	22	12	8	20	146
	197	38	25	8	31	299
22	149	24	4	0	9	186
	264	96	7	0	19	386
23	106	83	4	0	10	203

※ 国・地域は、推定を含む。

※ 上段は上半期(4月1日～9月30日)、下段は年度1年間の回数を示す。

四半期毎の緊急発進回数推移(23年度)

1 航空方面隊別

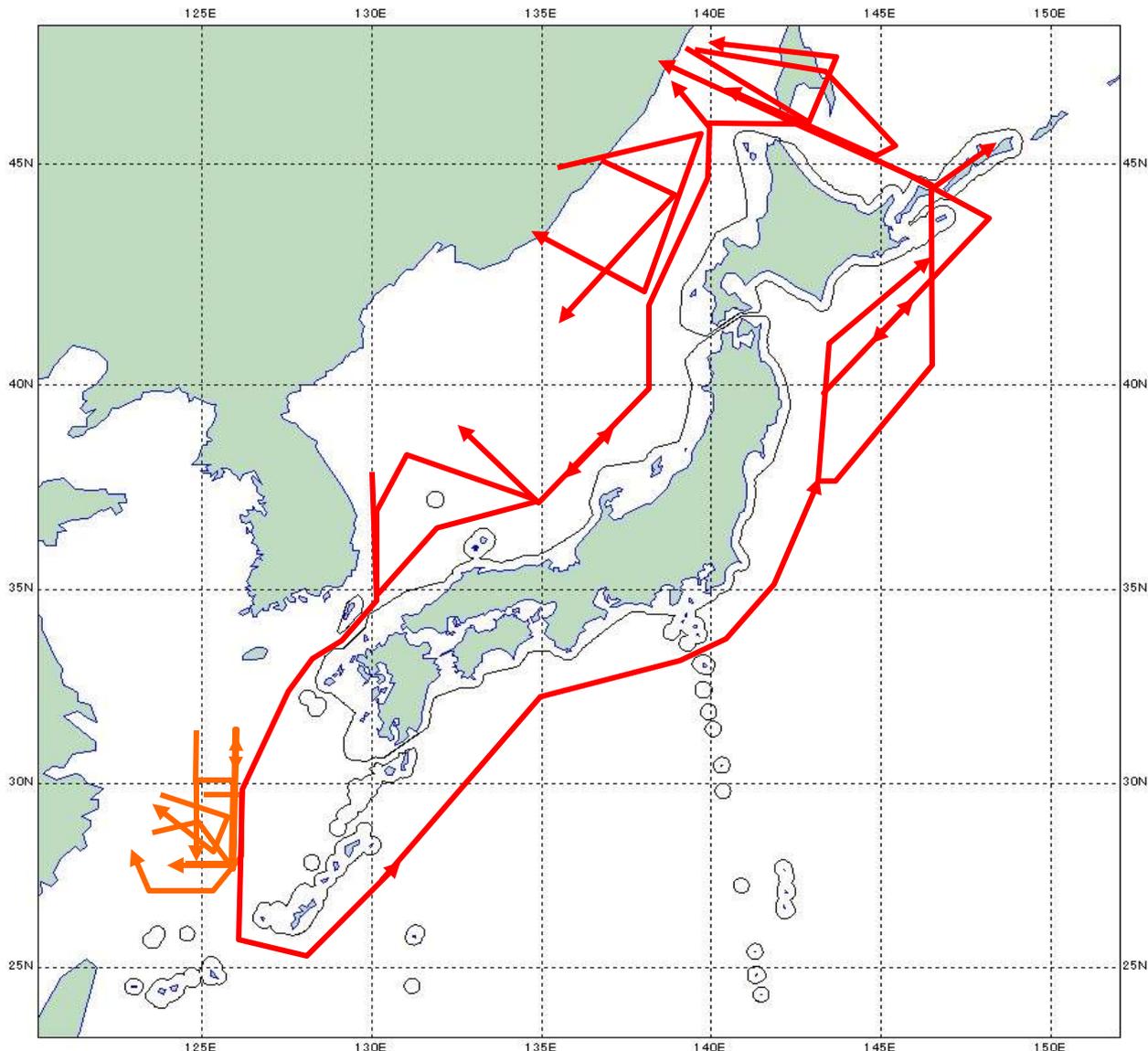
23. 9. 30現在

	北空	中空	西空	南混	合計
1／四半期	20	4	2	32	58
2／四半期	57	16	15	57	145
合計	77	20	17	89	203

2 国・地域別

	ロシア	中国	台湾	北朝鮮	その他	合計
1／四半期	24	27	2	0	5	58
2／四半期	82	56	2	0	5	145
合計	106	83	4	0	10	203

緊急発進の対象となったロシア機及び中国機の飛行パターン例



→ : 中国機の経路

→ : ロシア機の経路